



# 令和7年度第2回 全体会（令和7年12月3日開催）

## 委員からのご意見・質問と区の考え方

番号	委員	意見・質問等	当日の回答	対応(区の考え方)	担当
1	上村委員	【西成区将来ビジョンについて】 資料14ページにある、西成区内にある地域資源という言葉について、ここでいう地域資源という言葉は何を指すのですか。	一般的な回答になるかもしれませんが、皆さんの分かりやすいところでいうと、地元の歴史的なものも含めて、いわゆる観光名所であったり、西成区には日本屈指の交響楽団を構えている大阪フィルハーモニー協会の会館もあり、そういった文化施設などをはじめ、広い意味でいうと、地元の企業であったり、地域コミュニティだったり、地域で活動する方々も含めて、そういったものも地域人材という意味でいうと、これらも含めて地域資源というふうな認識をしています。 (総合企画課)	当日の回答のとおり	総合企画課 総務課
2	上村委員	【多文化共生の地域づくりに向けたエリアプログラム支援事業について】 市民活動推進審議会の資料に、多文化共生の地域づくりに向けたエリアプログラム支援事業というのがあり、北津守地域が代表的に選ばれていました。1年限りの事業であれば、今年度はどのようにされているのですか。 この事業を通じて、この中国人の方が町会に加入したのかということと、西成区としてこの成果をどのように活かされるのかを教えてください。	北津守地域の多文化共生の地域づくりに向けたエリアプログラム支援事業は、外国人住民に地域活動に参加してもらう取組として、市民局が委託事業により令和6年度にモデル実施しています。令和7年度はその事例をHow to冊子として取りまとめ、今後は各地域において必要な時にそのHow to冊子を活用してもらうという取組であり、今年度は北津守地域での支援は実施されていません。なお、中国人の方が町会に加入したかは確認できていませんが、おそらく加入には至っていないと思われます。 地域ごとに受け入れにあたっての考えの違いはあるものの、区役所では引き続きこのHow to冊子なども活用しながら、地道に支援を行っていく必要があると考えています。 (市民協働課)  西成区では1万7000人ほどの方が住民票を置いています。西成区の地域の方々の特性としてニューカマーを温かく受け入れる文化があるとされており、この強みを生かして、外国の方も含めた、新たに西成区にいられた方と共生していきたいと考えています。外国の方が増加するなか、西成区から「こういう取組をしたらこうなったよ」という好事例を発信できたらと考えています。 (区長)	当日の回答のとおり	市民協働課
3	上田委員	【西成区将来ビジョンについて】 資料10ページの子どもの夢がひろがるまちについて、戦略1のめざす状態に「子育てしやすい環境が充実し」とあります。この柱1は、ほぼほぼが子どもが主語なので、この「子育てしやすい環境」というのは、少し大人が主語となっていると思います。できれば、先に「すべての子どもが安心して生活でき」、そして「子育てしやすい環境が充実すること」というふうな、逆にしてはどうですか。	なぜこのように書いているかということ、西成区は割と若い方が子育て時期になると転出していかれる人が多いからです。それを何とか留まっていたら、西成で子どもを産んで育て、ここで就職して地域貢献して欲しいという想いがあります。そのため、原案の表現をイメージしました。 (区長)	いただいたご意見を踏まえ改めて検討しましたが、当日回答したとおり、子育て時期の転出は大きな課題であり、大人の皆様に、西成区内で子育てを始め、続けていただくという判断をしていただくためには、これらの方々と同じ目線を起点とした表現を用いることが重要と考えられることから、ご指摘の部分の表現は、原案を維持することとします。	総務課 子育て支援担当
4	村井委員	【外国人による案内行動について】 北あいりんエリアの部分は、非常に外国人の観光客が多いです。外国人が外国人を案内しているという状況がたくさん散見されます。外国人による案内行動について、何をしているのかなというのを調べていただければありがたいです。	外国の方が、どのように案内しているかは分かりませんが、区役所のHPなどで、新今宮スタディツアーなどを色々情報発信しているので、そういったところをご覧くださいという案内は出来ると考えています。 (区長)	外国の方を案内するツアーとして、個人・法人問わず様々な方が実施されている状況は認識しています。 トリップアドバイザーなどの外国人向け旅行サイトやSNSを通じて参加者を募っているケースや、中には電車内の広告で参加者を募集しているケースもあります。 西成区内を案内するツアーに関しては、概ね料金は1万円前後、人数は10人以下、時間は2～3時間、英語等の外国語での案内が可能なガイドが帯同する形で、新世界・あいりん地域・飛田商店街などの浪速区南東部・西成区北東部を巡る飲食等の体験を含むパターンが多いものと思われます。参加者の多くは外国人だが日本人の参加もある模様です。なお、日本人向けの同様のツアーもある模様です。	総合企画課

番号	委員	意見・質問等	当日の回答	対応(区の考え方)	担当
5	小林委員	【新今宮スタディーツアーについて】 新今宮エリアブランド向上事業の際に、まち歩きの企画をきちんとした情報の中で実施して、現在、新今宮LLPが請け負っている、新今宮スタディーツアーがありますが、まだ英語対応していないと思うので、これから出来るようになっていけばということと、他のツアーと差別化、正しい情報であることをPRしていけば、繋がりが広がると思います。	—	新今宮スタディーツアーについては、西成区役所での事業実施を経て、現在は新今宮エリア魅力向上有限責任事業組合(新今宮LLP)により実施されているところであり、外国語対応も検討されているところとお聞きしています。 近隣では様々なツアーが実施されており、取り入れるべき点は取り入れ、差別化を図るべき点はより明確に、関心を持たれる方々のニーズを受け止めることができるよう区としても協力してまいります。	総合企画課
6	藤田委員	【新今宮の環境整備について】 新今宮をもう少しきれいにしていただけないかなと思います。せっかくのこの良い時期だから、もう少しどうにかできないのかなと思います。	—	あいりん地域においては、西成特区構想の取組当初よりごみの不法投棄や迷惑駐輪などについて対策を行い、一定の改善を図ることができています。 新今宮駅周辺のまちづくりについては、あいりん地域まちづくり会議において、ボトムアップ方式で地域の方々に協力いただきながら議論されているところです。 引き続き、地域の方々のご意見を丁寧に取り入れ、よりよいまちづくりに向けて取組を進めてまいります。	総合企画課 市民協働課
7	上田委員	【西成区ならではの事業について】 JR新今宮駅の西口側が全部階段です。スーツケースを持ってすぐ苦労されていて、何度か一緒に運びました。もちろん綺麗になって便利になるのが望ましいと思いますが、すぐにそこにエレベーターが設置されることは想像できません。スーツケースを運んであげる仕事など、西成ならではの、仕事づくりと旅人に親切にするという事業などを作れたら面白いと思いました。	—	新今宮駅のエレベーター設置等については、駅の構造上および敷地の制約上、旅客の流動に必要なスペースを確保したまま、エレベーターなどの昇降設備等を設置することが困難であるなど様々な問題があり、現在のところ整備の方向性を決定するに至っていない【本市ホームページ(市民の声)より抜粋】とのことです。 今回の委員のご意見については、鉄道事業者へ共有させていただきます。	総務課
8	村井委員	【西成区の活性化について】 西成区で多くの外国人や日本人の若い人も泊まっていたのに、色々な食事をしたり、楽しんだりしていただいているかという点でまだ充分ではありません。やはり、天王寺・難波へ行く方が多いです。何が足りないかという点、10商店街に約400の店舗がありますが、飲食店舗は十数店舗しかありません。この状況の中、旅行者の方々、飲食や何かを楽しめるのか考えると充分ではないと思います。行政も頑張っていたかと、資本投下をしていただけるのではないのでしょうか。	—	西成区役所では従前より「西成観光マップ」を活用し、観光客などに西成区のおすすめスポットなどを紹介しています。 2025年度は「天下茶屋魅力発信イベント」や「新今宮スタディーツアー」において、西成区の情報発信に努めました。 委員のご意見をふまえ、引き続き、西成区の魅力を発信する広報活動を進めてまいります。	総務課 総合企画課
9	高橋委員	【新今宮の再開発について】 外国人の受け入れを、経済の発展のためにも必要と考えながら、新今宮、天下茶屋エリアの再開発をすべきだと思います。 区長が大阪市に声を上げていただき、難波や天王寺に負けまいまちづくりを課題にしたらどうでしょうか。	—	新今宮駅周辺、天下茶屋駅周辺、それぞれのまちづくりについては、地域の方々等が参加するまちづくり会議の場を中心に議論されているところです。 また、天下茶屋駅前の市有地については、パブリックコメントを実施し、令和6年10月に『天下茶屋駅前まちづくり方針』を策定し、令和7年11月から令和8年2月にかけてマーケットサウンディングを実施したところです。 引き続き、地域の方々のご意見を丁寧に取り入れ、よりよいまちづくりに向けて取組を進めてまいります。	総務課 総合企画課

番号	委員	意見・質問等	当日の回答	対応(区の考え方)	担当
10	高田委員	【保育園・幼稚園への入園について】 今年、保育園や幼稚園になかなか入れないから、どうしても隣の住之江区や住吉区に引っ越さざるを得ないという話を、去年まで多少聞いていたが、今年はその倍以上の声を聞いていて、どうにかならないかなというところが疑問です。	大阪市全体でいうと、待機児童ゼロをめざしており、今年度初めて待機児童ゼロになりました。ただ、保留児童という、ここへ行きたいけど、ここへ行けなければ家にいますというような方も結構な数増えているので、まだまだ保育所とか人材確保とか施設の活用など、色々なことを大阪市もやっています。ただ、地域偏在というのはやっぱりあって、全体としては待機児童ゼロですが、地域によっては厳しいところもあるかもしれません。ただ、新しく保育所を建てていうのは、なかなか難しい。将来的に少子化だと言っているのに、これから乗り出そうというのは難しいが、西成区で子どもを産んで育ててと言っていることから、保育所不足が無いようにしていきたいと思っています。 (区長)	保育所入所に関するニーズに対応するため、こども青少年局と連携し、認可保育所の設置および運営事業者の募集を継続的に行い、取組を進めています。なお、募集にあたっては、保育ニーズが高く供給が不足している地域を精査したうえで実施しています。	子育て支援担当
11	浅野委員	【西成区運営方針について】 令和8年度西成区運営方針の基本的な考え方で、「若い人や子育て世帯を呼び込み」ということが書かれていたと思います。西成区は、若い世帯が増えてきている、若者の流入も、多国籍かと思いますが、子育ての時期になって流出するというのが非常に課題だと思います。住民が増えることは大きな目的だと思うので、若い人を呼び込むということが、経営課題の中で薄いのかなという気がします。もう少しどういう区であれば、もっと定着していきたいと思うのか、流出しないでここにいたいと思うのかというアピールが少ないことが気になりました。	西成区に若者が定着せず転出することは、大きな問題だと思います。西成区は子育てしやすく、中心部からも近いのに、なんとなく西成出身というのをはばかれるという人もいます。これは払拭が難しい。 自分の住んでいるところに愛着を持てるよう、良いところを発信し、変えていく必要があります。西成区という名前のブランディングをあげるため、これからめざす西成像を、短い言葉で表現できないか絶賛募集中です。 西成はいろんなところを許容するまちであって、再生、再チャレンジできる場所なので、万博ヘルスケアパビリオンのテーマ「リポーン」のレガシーを受け継いで、西成は「リポーンのまち」というのも一つかと思っています。そういうキャッチフレーズをつくって、そこへ向かっていこうという、プラス思考のメッセージを出したい。西成区に住んでいる人が、自分のまちは西成ですと堂々と話せるまちにしたい。そのためにアイデアを頂戴して進めていきたいと考えています。 (区長)	当日の回答のとおり	総務課 総合企画課 子育て支援担当
12	浅野委員	【西成区運営方針について】 経営課題の、令和6年度、7年度、そして8年度の予算はこれからだと思いますが、6年度の決算と7年度予算額があって、実績やデータが、8年度の例えば人数をこのぐらいの人数で考えているというのがありますが、実際どのような実績なのかが見えないと、規模感や妥当性が分かりにくいと思います。	—	各年度の実績につきましては、例年6月頃に前年度の運営方針の振り返りを実施する際にお示しさせていただいており、今年度の実績についても、次年度の6月頃にお示しさせていただく予定です。	総務課
13	浅野委員	【西成区のイメージアップについて】 西成区は住みやすいから定着してもらいたいということは、どんどん発信していくべきだと思うので、それを子育て世帯・高齢者、外国の方や若い人達自身で盛り上げていっていただけるようなアピールはすべきだと思います。	—	西成区の魅力をさまざまな方に知っていただけるよう、引き続き情報発信の取組を進めてまいります。	総務課 総合企画課
14	村井委員	【不法投棄について】 あいりん周辺では、産業廃棄物を他所から運んできて不法投棄されるという状況があります。対して、防犯カメラの性能が非常に発達しているから、区役所で防犯カメラを貸す制度を作ってほしいです。警察は画像などの物証がないと実際に追跡できないという話であったので、区役所にお願できないかという要望です。	現状は、防犯カメラを設置する地域に対して補助金を出させていただいて費用負担の軽減を図っているところです。また、いまみや小中一貫校が開校した際に、区役所で、通学路に防犯カメラを設置しています。	ごみの不法投棄などの対策のために防犯カメラが設置された場合、その課題が解決した後も撤去されることなく、引き続き不法投棄などを抑止するために設置されているため、一時的な防犯カメラの貸し出しを制度化することは難しいと考えています。 西成区では、地域安全意識の向上や街頭における犯罪を抑止するため、防犯カメラを設置しようとする区内の地域活動協議会等に対して、設置費用の2分の1(上限10万円)を補助する制度を設けています。引き続き、本制度がより使いやすくより有効なものとなるよう定期的に検証を行うとともに、地域や警察とも連携して犯罪の抑止に取り組んでまいります。	市民協働課

番号	委員	意見・質問等	当日の回答	対応(区の考え方)	担当
15	南委員	【区政会議の運営について】 条例の第3・4条で広く区民の意見を反映する場が区政会議とされています。そうなったときに、平日の時間帯というのは、働いている方とか、市役所で働いている方には無理だと思います。子育て世帯の方が参加しやすい時、場所で行ってみたいらどうでしょうか。いきなり全部やれというわけではなくて、1回でも良いからやってみてほしいです。	区政会議の開催時間について、従来から、希望する開催時間ということで、皆さまからアンケートを取り、決定しています。選択肢としては、平日の昼間、平日の夜間を記載しています。基本的には、ご希望に沿った形で開催させていただきたいと考えております。	当日の回答のとおり 3月13日開催の第3回全体会においても、改めて開催時間についてのアンケートを実施させていただく予定です。	総務課
16	上村委員	【区政会議の運営について】 従来の部会を分科会に変更と考えて良いのでしょうか。	これまでは、3つのテーマで部会を実施しており、2回部会を開催したのちに全体会を9月ごろに開催という流れでした。来年度以降は6月ごろに開催予定の第1回目の全体会終了後に、分科会に分かれていただき、そこで経営課題ごとに議論をしていただく予定です。	当日の回答のとおり	総務課
17	上村委員	【区政会議の運営について】 第1回目の全体会のあとに分科会を開催すると時間がかかります。どちらかというと全体会よりも部会の方が皆さん意見が出やすいです。分科会の回数が減ると意見が出なくなるのではないのでしょうか。 これまでは部会の時に見学・視察があったが、視察は無くす方向なのか。	来年は、6月ごろに第1回全体会、9月ごろに第2回全体会、12月ごろに第3回全体会を開催予定です。この中で納まりきらない分については、例えば、今まで第3回全体会をやっている3月ごろに開催する方法もあると考えています。 あるいは、1回目と2回目のあいだ、2回目と3回目のあいだとか、そういった部分で柔軟に開催を検討していきたいと考えています。	当日の回答のとおり 分科会については、第3回全体会において、説明させていただく予定です。	総務課
18	上村委員	【区政会議でのフィールドワークについて】 提案ですが、総合企画課の方で「てんがちゃーん」という催しをしていました。私も参加し、知り合いにも声をかけて、参加してもらいましたが、「もうひとつやな」という感じでした。総合企画課としては、今年は時間がなくて、いろいろあるけれどもやったというような感じでした。 例えば来年度、この区政会議のメンバーの方に、見学・視察の代わりに「てんがちゃーん」に参加してもらって意見をいただくということも検討してほしいです。	—	区役所や地域で行うイベント等については事前にお知らせするので、可能であれば参加していただき、ご意見等ある場合は賜りたいと考えております。	総合企画課 総務課
19	南委員	【警察の対応について】 先日、警察の方へ相談した際に、担当ではないと断られたことがあります。縦割りで分かりづらいため、どこに相談したらいいのか、区役所が代わりに相談に乗ってくれるなどのコラボレートをしていただけたら相談しやすくなると思います。	警察署であれば相談係があり、#9110へ電話すると、警察本部の警察相談ダイヤルにつながります。そこで、相談部署についてのご案内をしているため、活用していただければと思います。このようなご意見をいただいているということ、今後の地域警察官の活動などに生かしていきたいと考えています。	以後の活動に資するため、地域課と情報共有を行いました。 (西成警察署)  引き続き、関係機関と連携してまいります。 (西成区役所総務課)	西成警察署 西成区役所総務課